

水道水の硬度について

平成23年3月

出雲崎町建設課

1. 硬度とは？

硬度とは主なミネラル分のカルシウムとマグネシウムの量を表しています。

含有量が少ないものを**軟水**、含有量が多いものを**硬水**といいます。

硬度の水質基準は 300mg/l 以下と定められており、基準内における硬度の大小が**健康に影響を及ぼすことはありませんが**、生活の中で以下のような状況がみられます。

◎硬度が高いと・・・

- ・やかんやポット、ボイラー等にスケール※が付着します。
- ・石鹸の泡立ちが軟水に比べ多少悪くなります。

◎硬度が低いと・・・

- ・水道管に対する腐食性を高めたりすることがあります。

2. 軟水と硬水の分類 (WHOによる)

軟水 (0~60mg/l)	中程度の軟水 (60~120mg/l)	硬水 (120~180mg/l)	強度の硬水 (180mg/l 以上)

上記表は概ねの数値です。

3. 当町における取組み

水道水の硬度は、水源の種類に大きく影響され、一般的に地下水の方が河川水などに比べ、高くなる傾向があります。

水源を全て地下水に依存している出雲崎町の水道水の硬度は概ね 40mg/l~110mg/l と水源によりさまざまですが、より均一で良質な水質確保のため、新しく硬度の低い水源の調査・試掘を継続的に行っています。

※スケールとは、水中のカルシウムやマグネシウム（いわゆるミネラル分）が析出したものことです。加熱などで水分が蒸発することによって白色のものが発生し付着します。